

A.O. 2015年卒 地域マネジメントコース

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

北九州市の公立小学校で教員をしています。小学校教員の仕事は、授業や学級経営、学校行事の運営など多岐にわたります。やりがいは、なんといっても子どもたちの成長を間近で見守り、その成長を支えることができるということです。子どもたちが社会性を身につけ、人として成長していくことができるよう、一人ひとりに寄り添う親身な姿勢で関わることを大切にしています。日々の授業の中で、「できた!」「分かった!」と目を輝かせる子どもたちの笑顔は、教師にとって何よりの活力剤です。授業力を磨きながら、毎年、新たな子どもたちとの出会いを楽しみに働いています。



学群生時代に力を入れたこと

「経験できることは全部やろう。」と自分なりに決めて入学しました。地域創生学群での経験は、本当に貴重なものばかりでした。特に、東日本大震災関連PJでのたくさんの人との出会いは忘れられません。宮城県の南三陸町へ学生ボランティアとして行かせていただき、泥で埋まってしまった側溝の掃除をしたり、被災地の小学校へお菓子や義援金を渡したり、町役場の前で小倉の焼うどんを振舞ったりしました。被災者の方々との交流の中で、困難にも負けずに力強く生きる方々の姿を目の当たりにし、日々の生活が決して当たり前ではないことに気づきました。また、コミュニケーションをとるといことが人の心の支えになることを知りました。

学群での学びの何が、今に繋がっているのか

大学での経験の中で、私自身が気づかされたことは「周りの人に支えられて生きている」ということです。少しでも支えになればと参加した被災地でのボランティアで、気付けば元気ももらっていたのは私自身でした。実習では大変な思いをすることもありましたが、それでも乗り越えられたのは、友だちや先生方がそばで支えてくれたからです。これらの経験から、人との関わりを大切にできる人間でありたいと思うようになりました。現在、教員として子どもたちとの関わる中で「周りの人を大切にすること」と、そのためにはまずは「自分を大切にする」ことを伝え続けています。

現役生へのメッセージ

地域創生学群を卒業した私が伝えられることは、入学してよかった!ということ です。「ひと味違う大学生活」を送りたいあなた!そんな人には、地域創生学群がピッタリです。「なんかやってみたい。」それでいいと思います。その「何か」を知るために必要なのは、行動力だけです。大学生活は自分のことを見つめる時間だと思えます。たくさんの人に支えられ、たくさん経験してください。ここで自分の課題や強みを発見してください。経験した人だけが感じることができる達成感があります。それは、社会に出てきつと役に立つはずでず。みなさんのことを、心から応援しています。